

多摩信用金庫

たましんレポート Tamashin Report 2012

第79期 業務のご報告

[平成23年4月1日～平成24年3月31日]



「お客さまの声」を
地域の未来に…





【目次】

- 理事長からのごあいさつ 1
- 地域金融機関としての役割 2
- 地域とたましん
 - 企業へのお手伝い 4
 - 個人のお客さまへの支援 6
 - 地域社会への取り組み 8
- 業績ハイライト
 - 預金・年金振込・預かり資産 10
 - 貸出金・事業所融資先数 11
 - 収益の状況 12
 - 自己資本比率 13
 - 不良債権 14
 - 貸出金業種内訳・有価証券 15
- 貸借対照表 16
- 損益計算書・剰余金処分 17
- たましんの
コンプライアンスの考え方 18
- たましんプロフィール・役員一覧
連結される子会社 20
- 店舗ネットワーク 21

理事長からのごあいさつ

〈持続可能な、明るいくふるさと多摩〉



理事長 佐藤 浩二

いつも〈たましん〉をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。今年も1年の活動をご報告する「たましんレポート」ができました。〈たましん〉の平成23年度の活動をお伝えし、皆さまからいただく貴重なご意見を今後の活動に活かしてまいります。

平成23年度は、日本全体で東日本大震災からの復興が大きなテーマとなった一年でした。

直接的な被害が少なかったこの多摩地域においても、様々な問題に直面しました。厳しい環境下で努力を続ける企業の皆さまの課題を一日も早く解決し、個人のお客さまの毎日のくらしに安心をお届けするなど、地域の活性化をお手伝いすることが私たちの使命と考え、日々努めてまいりました。

一方で、預金残高については平成22年度に引き続き増加しましたが、貸出金残高については減少しており、課題解決活動の不足を感じております。平成24年度は、企業ならびに個人のお客さま、地域全般にわたる課題について、より多く、より迅速に解決すべく、職員一同自らの役割を

の創造を目指します。

明確にし、地域の課題解決インフラとしての役割を確立していきたくと考えております。

お客さまの課題解決のため、サポート体制の充実を図ります

企業の皆さまの抱える経営課題の解決に向けた〈たましん〉のサポートとしては、昨年3月に発足した「課題解決プラットフォームTAMA」が、引き続き中心的な役割を担っております。震災直後であった平成23年度前半は、これまで培った情報収集力や対応力を活かし、企業が直面する緊急課題にお応えしてきました。

今年度は、経営革新に取り組むお客さまに向けた、さらなるサポート体制の充実を図ってまいります。

また、昨年12月には、〈たましん〉の80店舗目となる「多摩センター支店」をオープンしました。「サクセシア」という愛称で親しまれており、専門スタッフがコンサル

ティングを行う「すまいるプラザ」の設置や多彩なセミナーの開催など、お客さまのご要望にワンストップでお応えしております。

末永く、さらに安心していただけるインフラを目指して

〈たましん〉が目指すのは、持続可能な明るい地域社会の創造です。街としての魅力があり、地域経済を支える安定した企業があり、将来にわたって安心してくらしたいことが、「ふるさと多摩」のあるべき姿です。平成25年1月には、地域とお客さまが末永く安心感をもってお取引いただくための取り組みとして、信金東京共同事務センター事業組合へのオンラインシステムの移行を控えています。

会員の皆様をはじめとする地域のお客さまにつきましては、今後も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり

基本方針

- わが信用金庫は社会的公器として協同組織による地域金融機関たる精神に徹し、
1. 役職員一致の体制を整え
 2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
 3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめ
- 以て地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

多摩信用金庫企業倫理

1. 社会的公器の自覚と信頼の確立

たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立してまいります。

2. お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献

たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献してまいります。

3. 法令やルールへの厳格な遵守

たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行ってまいります。

4. 反社会的勢力の排除

たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除してまいります。

5. 経営情報の公開と地域社会との調和

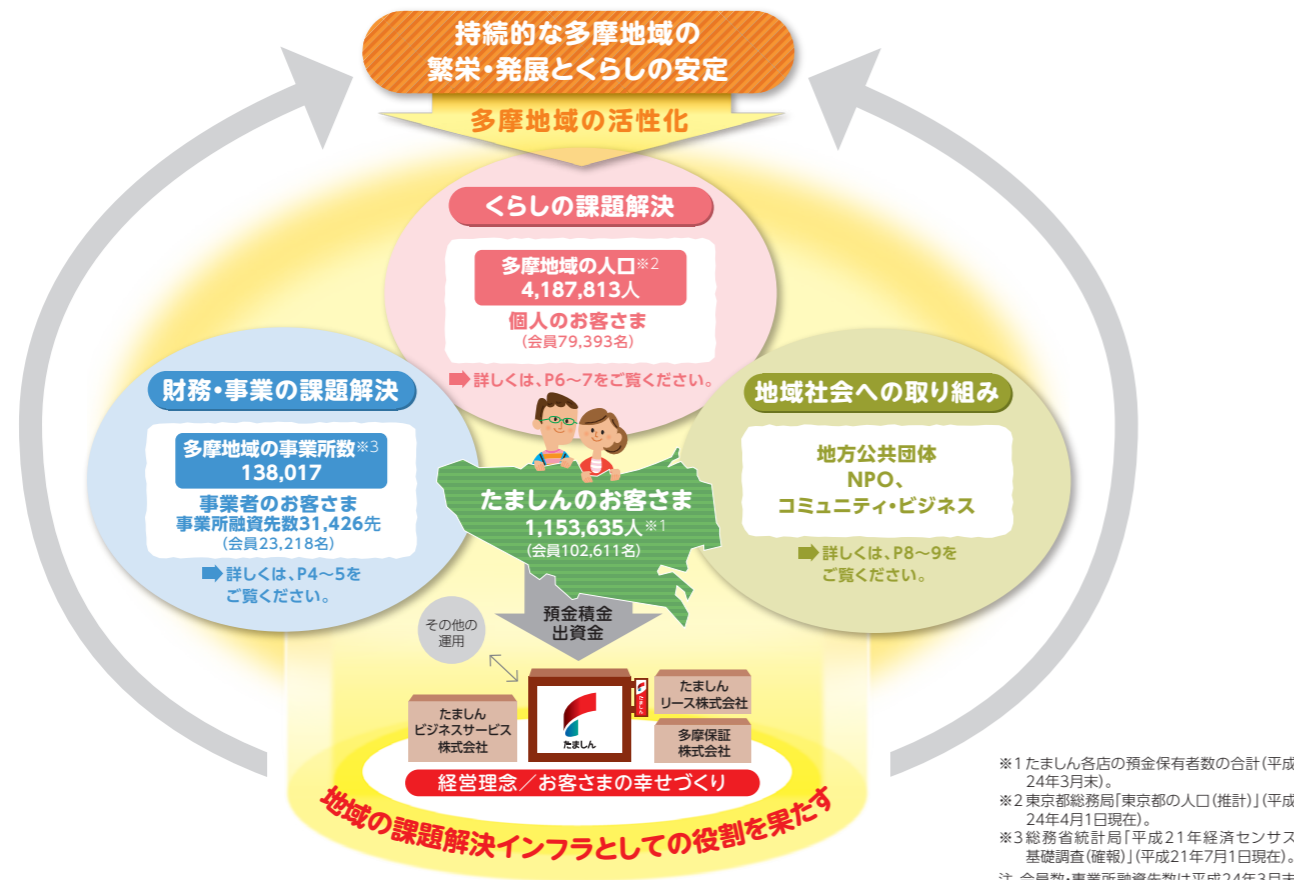
たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図ってまいります。

・本誌では、原則として単位未満(構成比等の比率については表示した数値未満)を切り捨てのうえ表示しています。従って項目ごとを合計した場合、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。
・3月末時点の数値については「〇年3月末」、期間中の数値については「〇年度」として項目表示しています。また、財務諸表においては、決算期数にて表示し、時点・期間を併記しております。

多摩地域の活性化・お客さまの声を活かすしくみ

たましんはお客さまと〈ふるさと多摩〉の

未来を創っていきます。



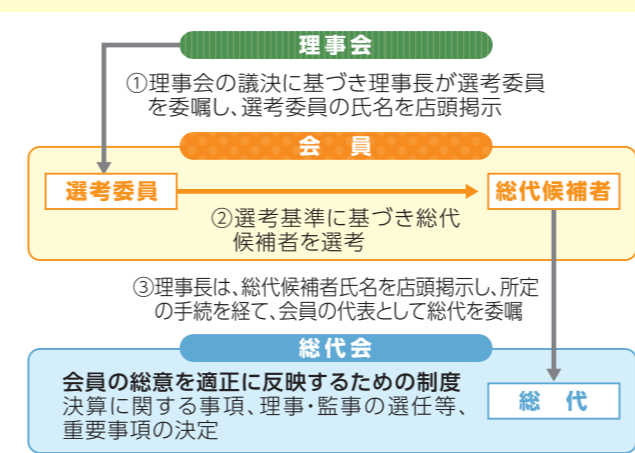
※1 たましん各店の預金保有者数の合計(平成24年3月末)。
 ※2 東京都総務局「東京都の人口(推計)」(平成24年4月1日現在)。
 ※3 総務省統計局「平成21年経済センサス基礎調査(確報)」(平成21年7月1日現在)。
 注. 会員数・事業所融資先数は平成24年3月末現在。

地域経済の活性化や文化の向上にも幅広く取り組んでいます。

<p>たましん 法人総合サービスBOB 事業を営む法人の方の、経営・営業・総務・人事など多方面にわたる悩みにお応えるサービスです。</p>	<p>たましん地域経済研究所 多摩の景況調査や各種経済データの収集・公開を行っています。これらのデータを掲載した季刊の情報誌「多摩けいざい」はたましんホームページでもご覧いただけます。</p>	<p>多摩らいふ倶楽部 多摩地域で暮らす方に、充実した毎日をお送りいただくお手伝いを行う会員組織です。「健康」「学ぶ」「遊ぶ」「地域」をキーワードとしたプログラムや、地域情報誌「多摩ら・び」を企画しています。</p>	<p>公益財団法人たましん地域文化財団 多摩の芸術家支援や地域の歴史・文化関係の資料の保存・公開を行う。たましんの文化活動拠点です。「たましん歴史・美術館」「御岳美術館」「たましんギャラリー」の運営や季刊誌「多摩のあゆみ」等を刊行しています。</p>
---	--	--	---

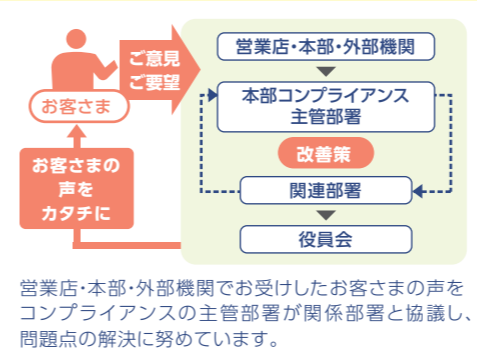
たましんでは、お客さまからお寄せいただいた様々な声を真摯に受け止め、日々の活動とよりよいサービスのために活かしてまいります。

総代会の仕組み 総代会は会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。すなわち会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫は、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。また、当金庫では総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて総代や会員とのコミュニケーションを大切に、様々な経営改善に取り組んでおります。

お客さまの声を活かすしくみ



たましんにとって、店舗の窓口やお客さま担当者が日々接するお客さまの声こそが活動指針です。お客さまに、よりご満足していただける金融機関をめざして、たましんではこうしたお客さまの声を業務やサービスの充実に役立てています。

たましんに お寄せいただいた声について

平成23年度中たましんの営業店等へお寄せいただき、コンプライアンス主管部署へ報告されたお客さまのご意見・ご要望は4,928件でした(アンケート調査などを除く)。内訳としては、商品性や機械や設備等へのご要望が1,879件、応対・サービス等についてのご意見が3,049件となっています。

企業へのお手伝い

力強いパートナーとして企業・事業所の

の成長と繁栄をお手伝いします。

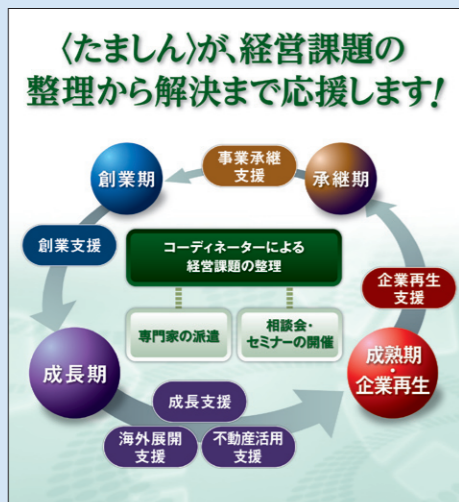
Pick Up!

ネットワーク・連携を活かした支援

平 成22年度の経済産業省委託事業である「中小企業応援センター事業」で培ったノウハウを活かし、平成23年3月よりスタートした「課題解決プラットフォームTAMA」では、中小企業の様々な課題の解決に取り組んでおります。平成23年度に寄せられたご相談は1,863件、うち専門家派遣を899回行いました。経営計画やマーケティング、事業承継に関するセミナーも継続的に実施しました。

建 設企業のための経営戦略アドバイザー事業について、平成23年12月国土交通省とパートナー協定を締結しました。これにより、多摩地域の建設企業に対して独自のスキームによる支援だけでなく、国土交通省に登録された中小企業診断士などの専門家を派遣することができ、中小建設企業へより充実した支援を行っています。

中 小企業の技術課題などを解決することを目的として、平成24年1月に、首都大学東京と連携協定に調印しました。地域の発展のために相互協力し、産学連携を強化することで企業の課題に迅速な対応を図っています。2月からは当金庫から首都大学東京に産学公連携コーディネーターとして職員1名が向出し、人的な連携をはじめとした積極的な展開をしております。



課題解決プラットフォームTAMA



首都大学東京との連携協定調印式

創業支援の強化・次世代への伝承と育成

日 本政策金融公庫と共催で、創業支援セミナー「ミニブルーム交流カフェ」をスタートしました。従来より、創業を目指す方のためのセミナーと交流の場を提供する「ブルーム交流カフェ」を立川市で開催してきましたが、新たに「ミニブルーム交流カフェ」を多摩の各地で開催し、231名の方が参加しました。これからも創業を目指す方へ、より身近な支援を行ってまいります。今後は多摩地域のインキュベーション施設の創業支援機関と連携し、地域の活性化のために創業支援の継続に努めます。



ミニブルーム交流カフェ 開催の様子

近 年、その重要性がますます高まる「事業承継」に関して、支援策を強化しております。事業承継セミナー「必ず成功する事業承継10の鉄則」や「事業の承継がよ〜くわかるセミナー」を開催したほか、中小企業診断士による事業承継相談会を、毎月第1木曜日に立川のWinセンターにて開催しております。



事業承継セミナー

理 論と実践のカリキュラムから多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成することを目的として、平成23年6月から10月まで一橋大学と連携して後継者育成塾「TAMA NEXTリーダープログラム3期生」を開講しました。これまで、第1期から延べ56名が受講しております。第3期では、経営知識と実践力を体系的に身につけるカリキュラムに新たにOB・OG交流会を追加し、多摩地域の次世代を担う経営者同士が交流を深めました。また、毎回講座終了後には、当日の講師陣を加えた交流会を通じて、自社の経営課題に関する問題点や先進事例に関する情報などを自由な討議で共有していただきました。



税理士によるマンツーマン指導の様子 (TAMA NEXT リーダープログラム3期生)

中小企業の活性化支援

地 域事業者の優れた「技術や製品」と新しいビジネスモデルを表彰する制度「多摩ブルー・グリーン賞」は平成23年で9回目を迎え、「多摩ブルー賞」(技術・製品部門)に94件、「多摩グリーン賞」(経営部門)に59件の合計153件のご応募をいただきました。最優秀賞に株式会社 応用技研(多摩ブルー賞)と株式会社 グローバルエージェンツ(多摩グリーン賞)、他に優秀賞12件、震災復興支援特別賞1件を決定し、12月に表彰式を行いました。



表彰式の様子

個人の皆さまへの支援

身近なサポーターとして個人の

皆さまの豊かな生活を支えます。

Pick Up!



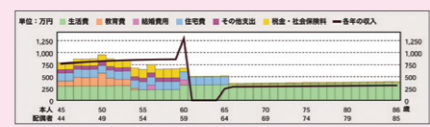
じっくり相談・安心サポート

資産運用をはじめ、相続、年金、保険などのコンサルティング業務を展開するすまいるプラザでは、前年より1,368件増の4,891件のご相談をいただきました。また、すまいるセミナーには、年間2,502名の方にご参加いただきました。すまいるプラザは、国立・武蔵村山・立川・吉祥寺・めじろ台・八王子に加え、新たに多摩センターと、その拠点を広げ、多様化するお客さまの悩みや課題の解決に取り組んでいます。



すまいるプラザでご相談を受ける様子

すまいるプラザおよび「すまいるカウンター」では、お客さまの将来にわたる必要資金や、必要保障等のマネープランの詳細を描く「ライフプラン・シミュレーション」を導入し、具体的な解決策のご提案をしております。



ライフプラン・シミュレーション

社会問題化する多重債務について、従来より、その解決に向けた「個人支援ローン『リンク』」の取り扱いや、弁護士会等との連携体制を構築したほか、全店舗に相談窓口を設置してまいりました。これらの取り組みが、平成23年6月に金融担当大臣より顕彰されました。

年金への不安が引き続き高まる中、受給手続の代行や年金額の調査のほか、社会保険労務士やシニアアドバイザーによる年金相談会を開催しました。年金振込件数は約20万8千件となり、一人ひとり異なる年金の疑問や不安の解消に力を注いでいます。平成23年4月より、ホームページで年金相談会への予約受付が可能となりました。

年金相談会受付ページ
<https://www.nenkin-soudan.info/>

未来を担う世代への支援

東日本大震災により被災した子どもたちの教育・生活支援を目的として信託報酬の一部を5年間にわたって寄付をする投資信託「しんきん復興支援育英ファンド(限定追加型)*」(愛称:こどもの未来)の取り扱いを、平成23年6月より開始しました。*購入申込期間は平成24年7月25日までです。

子育て支援の一環として、日本女子体育大学と連携し、子育て支援プログラム「夏休み親子自然体験'11ひのはら」を実施したほか、「明星大学 夏休み科学体験教室2011」、「2011青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井」などの協働事業を行いました。また、三鷹市市民協働センターで開催された夏休みお仕事体験イベント「コドモシゴト2011Summer」や、立川市で開催された第9回子育て教育フェアに出展したほか、中学校にて2年目となる「金融教育」授業を実施しました。



「夏休み親子自然体験'11ひのはら」の様子

くらしの充実のために

多摩地域のアマチュアゴルファーNo.1を決定する「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント」(愛称:多摩カップ)には、2,138名の方にご参加いただきました。地区予選、最終地区予選を経て、119名の方が平成23年12月の決勝大会にて熱戦を繰り広げました。



多摩カップ

日帰り・国内・海外のたましんトラベルサークルを実施し、全6,239名の方にご参加いただきました。そのうち、平成23年5月から7月にかけて行われた、たましんトラベルサークル「世界遺産屋久島3日間の旅～大自然の鼓動を体感する～」では、59店舗から840名の方にご参加いただき、白谷雲水峡や紀元杉等の神秘的な自然を満喫していただきました。



屋久島 紀元杉

地域社会への取り組み

地域の持続的な成長と発展を支え続けます。



もっと便利に

平 成23年12月、80店舗目となる多摩センター支店「サクセシア」をオープンしました。「お客さまの成功と幸せを」という願いを込めた愛称「サクセシア」では、通常の窓口やATMコーナーに加え、事業者のマッチングコーナーや投資信託・各種保険等に関するコンサルティングコーナーを併設し、お客さまの悩みや課題に「ワンストップ」で対応できる店舗を目指しています。



多摩センター支店「サクセシア」オープンの様子



東府中支店移転オープンの様子

平 成23年5月には、東府中支店を移転オープンし、地域のお客さまが気軽に立ち寄っていただけるよう、窓口とロビーを広げました。また、年金・保険等についてじっくりとご相談をいただける「すまいるカウンター」を新設しました。

- ATMコーナーを4ヵ所新設しました。
【新設】・フレスポ国立南・西国立駅前・いなげや小平小川橋店・府中駅構内

地域の活動、環境に協力

東 京・多摩のおみやげ」の特別企画として、「東京アベック×いなげや」を実施しました。「東京アベック」ブランド商品の販売が平成24年3月より2週間、スーパーマーケットいなげやの約10店舗にて行われました。アベックとはフランス語で「一緒に」という意味です。



「東京・多摩のおみやげ」特別企画ー《第1弾》

市 内の産業振興や活性化を協働で実施する目的で、中小企業支援のため「調布市」と、産業活性化支援のため「日野市」とそれぞれ包括協定を結びました。調布市では、産業振興センターにおける創業や経営に関する相談等の実施を決定し、互いのノウハウを活かした協力体制を構築していきます。

平 成23年6月の「信用金庫の日」には、環境への配慮とお客さまへの日ごろの感謝の気持ちをこめて、店舗周辺の清掃活動や、ハーブの種をお配りしました。また、森林を守る「森林認証素材」を原料としたRISURU現金封筒をATM横等に設置しました。



ハーブの種と現金封筒

手 口の巧妙化する振り込み詐欺からお客さまを守るため、地元警察との連携や、注意喚起うちわ等の作成を行い、振り込み詐欺の未然防止率も昨年度より12%改善しました。



振り込み詐欺注意喚起うちわ・チラシ

毎 年恒例の新春講演会では、野口悠紀雄氏（早稲田大学大学院ファイナンス総合研究所顧問）による「大震災後の日本経済」というテーマで実施し、約700名の方にご参加いただきました。



新春講演会

預金・年金振込・預かり資産

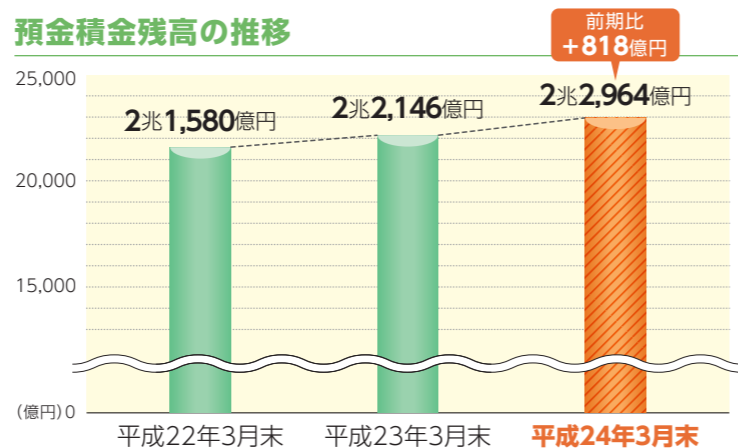
預金・年金振込は増加しました。

預金積金残高は、818億円増加しました。

預金積金残高は、地域の皆さまからのご支持をいただいたことにより、前期より818億円増加し2兆2,964億円となりました。

個人のお客さまを中心に流動性・定期性ともに伸びています。

預金積金残高の推移



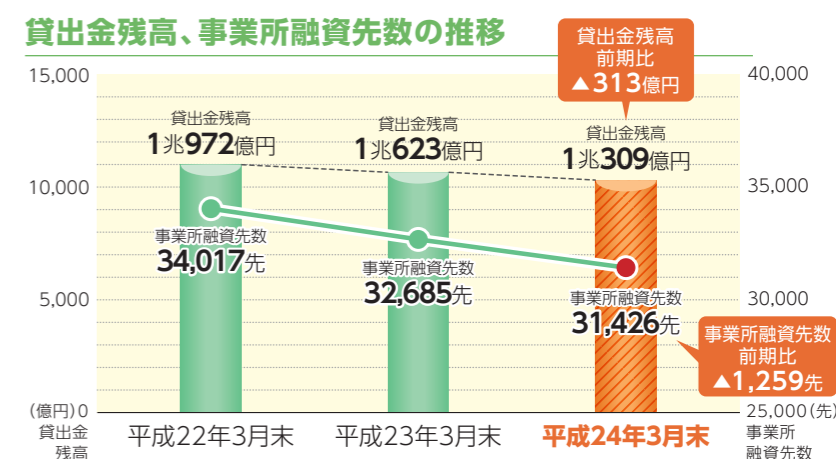
貸出金・事業所融資先数

貸出金・融資先数は減少しました。

貸出金残高は313億円減少し、事業所融資先数は1,259先の減少となりました。

貸出金残高は、景気の低迷による資金需要の減退などにより313億円減少し、1兆309億円となりました。事業性のご融資は197億円減少し、個人のお客さまのご融資は115億円の減少となりました。お客さまの悩みや課題により多く応えられるよう、努めてまいります。事業所融資先数は、31,426先となりました。地域企業の課題解決のため、さらに行動力を増して取り組んでまいります。

貸出金残高、事業所融資先数の推移



※事業性のご融資には、個人事業者向け消費者ローン・住宅ローン等の消費資金を含んでいます。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

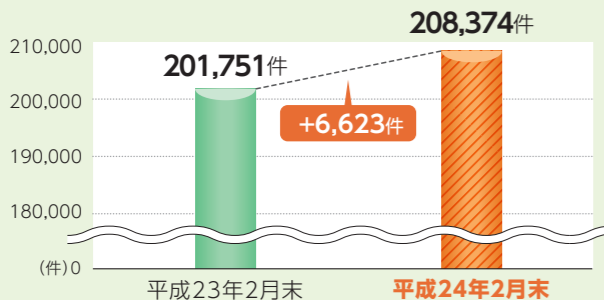


今期のポイント



年金振込件数の比較

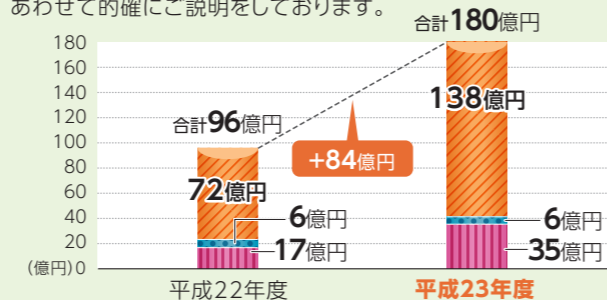
年金振込件数は、前年同月比で6,623件増加しました。お客さまから、変わらぬご信頼・ご支持をいただいています。



※基金を除く振込実績。

預かり資産取扱額の比較

預かり資産のお取扱い額は増加しました。ご提案にあたっては、金融商品取引法などの法令等を遵守し、お客さまの状況にあわせて的確にご説明をしております。



■個人向け国債 ■投資信託 ■個人年金保険+一時払終身保険
※外貨建て商品は、払込日のTTMLレートで円貨換算して算出しております。

〈中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律への対応〉

たましんは法律の施行以前より、経営理念の具現化として、地域のお客さまの悩みや課題を共有し、お客さまとともに課題解決に取り組んでいます。企業・事業所のお客さまには、経営相談・事業支援および事業再生に取り組み、個人のお客さまにはライフサイクル、ライフプランに応じた総合的サポートを提供し、金融の円滑化を図ってまいりました。今後もお客さまの課題解決に取り組み、地域の発展に寄与するため、一層の金融の円滑化に向けて取り組んでまいります。

経営革新支援担当の取組み

当金庫は、「課題解決のインフラとしての役割を果たすことが存在意義である」との考えに基づき、経営改善、事業再生支援を本業と位置づけてきました。さらに、金融支援にとどまらず事業そのものの再生に向けた取り組みの充実を図るため、平成23年度より融資管理部に事業面の課題解決を行う担当を増員し、経営革新支援担当として、強化しました。これにより、お客さまの経営課題に対して事業・財務両面からの支援が相乗効果を発揮することとなり、新たに改善の方向性を見出したケースや売上高の増加につながった等の成功事例が開始しています。

※「金融円滑化のための基本方針」・「金融円滑化を図るための方針の概要」・「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律第4条・第5条に基づく措置の実施状況」などについては、たましんホームページに掲載しております。

収益の状況

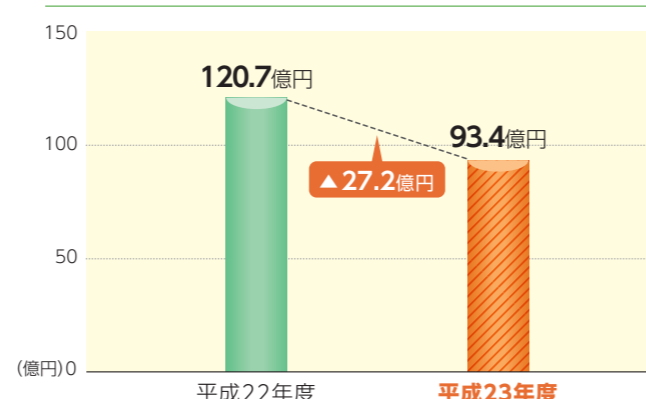
業務純益は93億円、
当期純利益は34億円となりました。

収益をさらなる地域貢献へ

平成23年度は東日本大震災の影響が残る中、国内外の景気の低迷、先行きの不透明感からお客さまの資金需要は慎重な姿勢が続きました。それに伴い貸出金利息を中心とした業務収益が減少し、また金融市場の混乱から債券の売却損等の業務費用が増加したこともあり、業務純益は前年比27.2億円減少の93.4億円となりました。

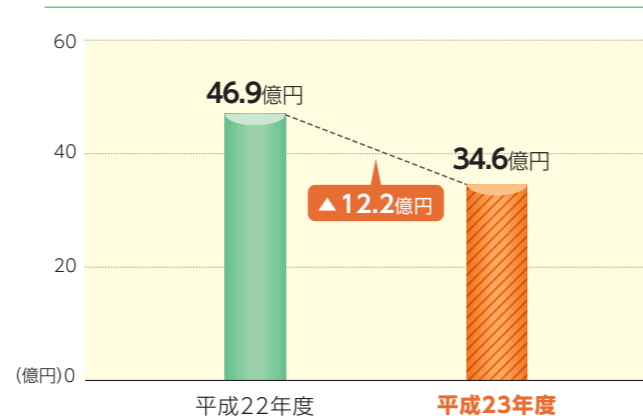
税引前当期純利益については、臨時費用のうち個別貸倒引当金繰入額が増加したものの、共同センターへの移行費用引当金などが昨年と比べ抑えられたことにより、前年比17.1億円減少の53.3億円の計上となり、税金を差し引いた当期純利益は前年比12.2億円減少の34.6億円となりました。減益となったものの、引き続き安定した収益を確保することができました。

業務純益の比較



※業務純益とは…業務収益－(業務費用－金銭信託等運用見合費用)で算出され、金融機関の基本的な業務の成果を示す利益指標です。

当期純利益の比較



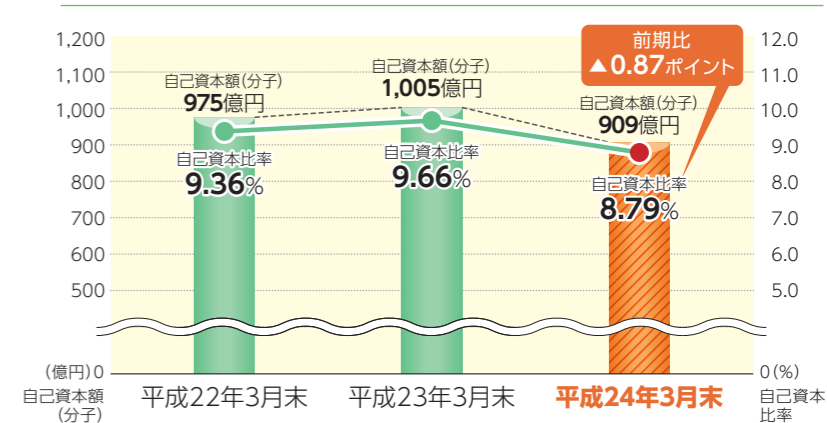
自己資本比率

自己資本比率は、8.79%となりました。

たましんの自己資本比率に対する考え方は、高さのみを求めているのではなく地域で果たす役割を第一に考え、リスクの高い資産(貸出金)=分母を減らすのではなく、自己資本(利益)=分子を増やすことで、経営の健全性向上を目指しています。

自己資本比率については、「リスク・アセット等」(分母)は前期比59億円減少の1兆348億円となりました。一方、「自己資本額」(分子)は期中に信金中央金庫より優先出資金107億円を買戻し、消却したことにより、前期比96億円減少の909億円となりました。その結果、自己資本比率は前期比0.87ポイント低下の8.79%となりました。

自己資本比率の推移



$$\frac{\text{(分子) 基本的項目(Tier1)+ 補完的項目(Tier2)- 控除項目}}{\text{(分母) 信用リスク・アセットの額+ オペレーショナル・リスク相当額 \div 8\%}} \geq 4\%$$

自己資本額の内訳 (単位/百万円)

自己資本額(分子)	金額
基本的項目	85,645
出資金	23,737
資本準備金	766
利益準備金	20,550 ※1
特別積立金	39,500 ※2
繰越金(当期末残高)	1,093
処分未済持分(△)	1
その他有価証券の評価差損(△)	—
補完的項目	5,324
土地再評価差額金相当額	2,216 ※3
一般貸倒引当金	3,108
補完的項目不算入額(△)	—

※1 利益準備金は、23年度剰余金処分中の350百万円を加算した後の金額です。
 ※2 特別積立金は、優先出資消却積立金9,000百万円を取崩した後の金額です。
 ※3 土地再評価差額金相当額は、土地の再評価額と再評価直前の帳簿価額との差額の45%相当額です。

資産等の項目 (単位/百万円)

項目	資産の額等	信用リスク・アセット等の額
リスク・アセット等計	2,581,226	1,034,874
資産(オン・バランス)項目	2,478,014	933,287
現金	27,089	—
政府・中央銀行向け等	528,705	14,875
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	814,139	172,616
法人等向け	277,358	223,260
中小企業等向け及び個人向け	314,201	218,905
抵当権付住宅ローン	76,895	26,220
その他	439,624	277,410
オフ・バランス取引等項目	103,212	27,309
代理貸付等の保証	11,025	9,976
その他	92,186	17,332
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	—	74,276

※リスク・アセットとは…貸出金や有価証券などの資産額にリスク・ウェイトを乗じて再評価した金額です。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

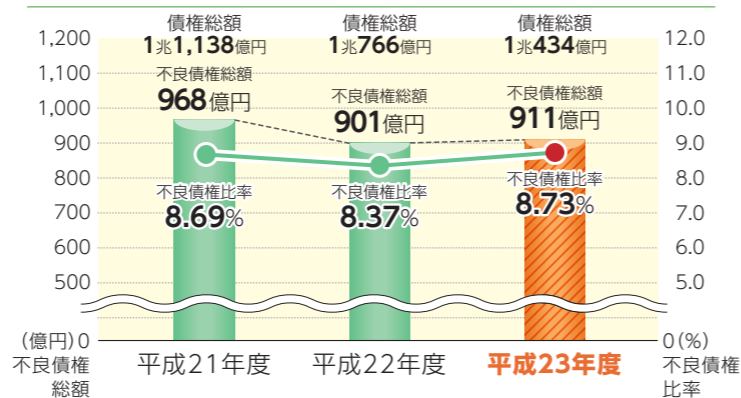
不良債権

不良債権比率は8.73%です。

金融再生法開示債権額のうち正常債権を除く額は、911億円となりました。

金融再生法開示債権額のうち正常債権を除く額は、平成23年3月期より増加し、911億円となりました。景気の低迷による需要の減退などによる貸出金の減少もあり不良債権比率は8.73%になりました。たましんの目指す不良債権処理とは、お客さまの業況改善です。厳しい状況下でも前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することで、業況改善のお手伝いをいたします。今後も、金融面・非金融面と幅広い支援に取り組んでまいります。

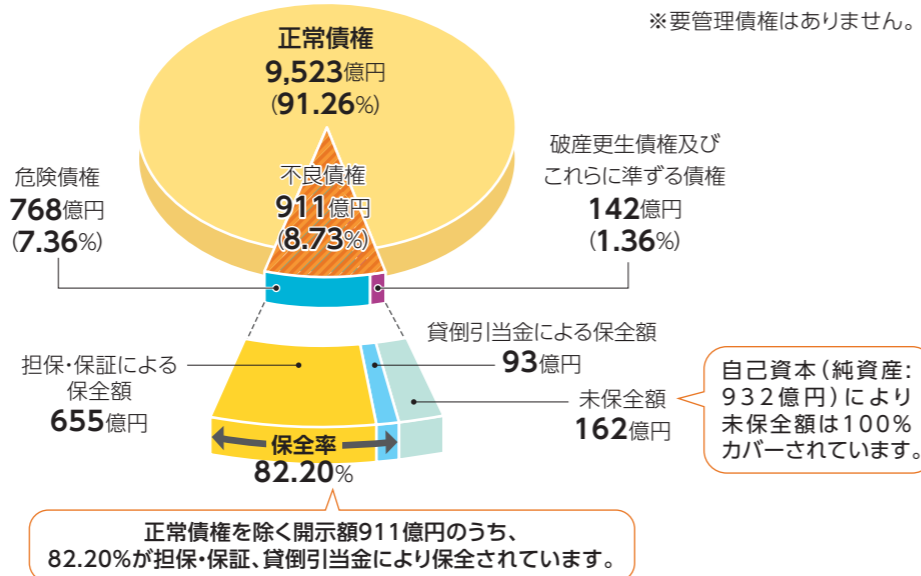
不良債権の推移(金融再生法における開示債権)



金融再生法開示債権の区別割合と、同債権に対する保全状況

不良債権は、しっかりと保全されています。

正常債権を除く開示額911億円のうち、82.20%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの約18%にあたる162億円は、自己資本(純資産932億円)により、100%カバーされています。



正常債権を除く開示額911億円のうち、82.20%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。

自己資本(純資産: 932億円)により未保全額は100%カバーされています。

貸出金業種内訳・有価証券

ご融資や資金運用のリスク管理について。

たましのご融資は、幅広く、小口多数

たましは、特定業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、お客さまに安心してお取引させていただくためと、地域で事業を営む方や、地域で生活している方を支援するという信用金庫の存在意義に基づいています。

貸出金業種内訳

業種区分	平成23年3月末残高		平成24年3月末残高		業種区分	平成23年3月末残高		平成24年3月末残高	
	残高	構成比(%)	残高	構成比(%)		残高	構成比(%)	残高	構成比(%)
製造業	115,379	10.8	107,461	10.4	物品賃貸業	3,051	0.2	2,892	0.2
農業、林業	386	0.0	292	0.0	学術研究、専門・技術サービス業	13,752	1.2	13,097	1.2
漁業	2	0.0	1	0.0	宿泊業	1,774	0.1	1,419	0.1
鉱業、採石業、砂利採取業	293	0.0	258	0.0	飲食業	23,550	2.2	21,938	2.1
建設業	104,513	9.8	101,489	9.8	生活関連サービス業、娯楽業	14,466	1.3	12,936	1.2
電気・ガス・熱供給・水道業	280	0.0	272	0.0	教育、学習支援業	4,146	0.3	5,615	0.5
情報通信業	6,768	0.6	6,700	0.6	医療・福祉	35,004	3.2	33,324	3.2
運輸業、郵便業	15,582	1.4	15,285	1.4	その他のサービス	50,201	4.7	54,670	5.3
卸売業、小売業	95,690	9.0	93,127	9.0	地方公共団体	21,685	2.0	27,638	2.6
金融業、保険業	4,193	0.3	6,463	0.6	個人*	263,410	24.7	250,978	24.3
不動産業	288,178	27.1	275,083	26.6	合計	1,062,312	100.0	1,030,950	100.0
不動産売買業	32,517	3.0	28,595	2.7					
不動産賃貸・管理業	247,653	23.3	238,122	23.0					
不動産流動化等を目的とするSPC	1,980	0.1	—	—					
不動産関連地方公社等	6,027	0.5	8,365	0.8					

※個人は、住宅資金・消費資金等の貸出をさし、個人に対する事業性貸出を含みません。

資金運用については、国内の債券を中心に堅実な運用を心がけています

金利リスクや信用リスクなどの各種リスクの管理を行ったうえで、国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築することで、堅実な資金運用を心がけております。国内株式が期末にかけて上昇したこと、日・米・欧で金融緩和政策が実施されたことにより金利が低下したことなどから、保有有価証券の評価益は92億円になりました。

有価証券の時価等情報

その他保有目的の有価証券に係る取得原価(償却原価)、貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。(単位/百万円)

	取得原価(償却原価)		貸借対照表計上額		差額		うち益		うち損	
	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末
その他保有有価証券	592,397	700,135	598,901	707,431	6,504	7,295	8,987	9,753	2,482	2,457
株式	11,757	12,518	11,175	12,093	△581	△425	1,054	1,114	1,636	1,539
債券	454,483	533,556	460,163	540,139	5,679	6,583	6,104	6,824	425	241
その他	126,155	154,060	127,563	155,198	1,407	1,137	1,827	1,814	420	677

※1 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。また、時価評価されていない「その他有価証券」も含まれています。
 ※2 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 ※3 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。これにより、市場価格をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、債券はそれぞれ1,092百万円(平成23年3月末)、725百万円(平成24年3月末)増加しております。

満期保有目的の債券、子会社株式に係る貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。(単位/百万円)

	貸借対照表計上額		差額		うち益		うち損	
	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末
満期保有目的の債券	98,030	102,042	677	1,953	1,116	2,041	438	88
子会社株式	1,653	1,653	—	—	—	—	—	—

※1 「差額」は、貸借対照表計上額と時価(期末日における市場価格等)との差額です。
 ※2 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって評価しております。これにより、市場価格をもって評価した場合に比べ、差額はそれぞれ140百万円(平成23年3月末)、234百万円(平成24年3月末)増加しております。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

貸借対照表

第79期 貸借対照表

平成24年3月31日現在 (単位/百万円)

科目	金額
現金	27,089
預け金	557,735
コールローン	10,000
買入金銭債権	78
金銭の信託	4,999
商品有価証券	54
商品国債	1
商品地方債	53
有価証券	811,126
国債	109,919
地方債	135,267
社債	385,594
株式	13,746
その他の証券	166,598
貸出金	1,030,950
割引手形	16,218
手形貸付	25,439
証書貸付	975,779
当座貸越	13,513
外国為替	435
外国他店預け	409
買入外国為替	24
取立外国為替	1
その他資産	15,572
未決済為替貸	441
信金中金出資金	7,265
前払費用	143
未収収益	5,844
金融派生商品	85
その他の資産	1,791
有形固定資産	33,927
建物	6,384
土地	22,638
リース資産	236
建設仮勘定	12
その他の有形固定資産	4,656
無形固定資産	1,873
ソフトウェア	1,098
リース資産	5
建設仮勘定	141
その他の無形固定資産	628
繰延税金資産	3,326
債務保証見返	11,139
貸倒引当金	△ 12,505
(うち個別貸倒引当金)	(△ 9,397)
資産の部合計	2,495,805

科目	金額
預金積金	2,296,493
当座預金	46,089
普通預金	934,121
貯蓄預金	11,003
通知預金	846
定期預金	1,166,898
定期積金	117,177
その他の預金	20,356
コールマネー	75,478
外国為替	74
売渡外国為替	74
未払外国為替	0
その他負債	11,549
未決済為替借	697
未払費用	1,320
給付補填備金	453
未払法人税等	997
前受収益	181
払戻未済金	68
職員預り金	603
金融派生商品	10
リース債務	247
資産除去債務	339
その他の負債	6,629
賞与引当金	1,143
退職給付引当金	1,028
役員退職慰労引当金	334
睡眠預金払戻損失引当金	267
偶発損失引当金	349
システム移行引当金	1,371
再評価に係る繰延税金負債	3,306
債務保証	11,139
負債の部合計	2,402,537
出資金	23,737
普通出資金	18,387
優先出資金	5,350
資本剰余金	766
資本準備金	766
利益剰余金	61,879
利益準備金	20,200
その他利益剰余金	41,678
特別積立金	39,500
(次期システム投資積立金)	(1,000)
当期末処分剰余金	2,178
処分未済持分	△ 1
会員勘定合計	86,381
その他有価証券評価差額金	5,268
土地再評価差額金	1,618
評価・換算差額等合計	6,886
純資産の部合計	93,268
負債及び純資産の部合計	2,495,805

注. 優先出資(引受先:信金中央金庫)につきましては、平成23年12月9日に信金中央金庫より買入し、平成23年12月22日に特別積立金(優先出資消却積立金)及び期中利益により消却しました。ただし、「協同組織金融機関の優先出資に関する法律」に定める規定に従い「優先出資金」及び「資本準備金」として表示しております。

損益計算書・剰余金処分

第79期 損益計算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日(単位/千円)

科目	金額
経常収益	43,615,914
資金運用収益	37,811,836
貸出金利息	25,608,695
貸入金利息	2,905,962
コールローン利息	434
有価証券利息配当金	8,874,781
その他の受入利息	421,963
役員取引等収益	3,554,519
受入為替手数料	1,924,931
その他の役員収益	1,629,587
その他業務収益	1,037,007
国債等債券売却益	782,946
国債等債券償還益	19,740
その他の業務収益	234,320
その他経常収益	1,212,549
償却債権取立益	680,300
株式等売却益	71,769
金銭の信託運用益	53,207
その他の経常収益	407,272
経常費用	37,749,739
資金調達費用	1,551,958
預金利息	1,220,419
給付補填備金繰入額	242,993
コールマネー利息	74,417
その他の支払利息	14,127
役員取引等費用	1,603,026
支払為替手数料	643,956
その他の役員費用	959,070
その他業務費用	1,444,256
外国為替売買損	210,408
商品有価証券売却損	90
国債等債券売却損	919,732
国債等債券償還損	209,043
金融派生商品費用	24,610
その他の業務費用	80,371
経費	29,750,576
人件費	16,503,794
物件費	12,735,029
税金	511,752

第79期 剰余金処分

平成23年4月1日～平成24年3月31日(単位/円)

科目	金額
当期末処分剰余金	2,178,938,983
繰越金(当期首残高)	805,774,068
土地再評価差額金取崩額	△238,775,001
優先出資消却積立金取崩額	9,000,000,000
自己優先出資消却額	△10,854,087,395
当期純利益	3,466,027,311

科目	金額
その他経常費用	3,399,921
貸倒引当金繰入額	2,121,697
貸出金償却	435,213
株式等売却損	253,526
金銭の信託運用損	600
その他の経常費用	588,883
経常利益	5,866,174
特別利益	8,850
固定資産処分益	6,557
その他の特別利益	2,293
特別損失	542,793
固定資産処分損	139,475
減損損失	403,318
税引前当期純利益	5,332,231
法人税、住民税及び事業税	1,056,570
法人税等調整額	809,634
法人税等合計	1,866,204
当期純利益	3,466,027
繰越金(当期首残高)	805,774
優先出資消却積立金取崩額	9,000,000
自己優先出資消却額	△ 10,854,087
土地再評価差額金取崩額	△ 238,775
当期末処分剰余金	2,178,938

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

科目	金額
剰余金処分額	1,085,486,813
利益準備金	350,000,000
普通出資に対する配当金(年 4.0%)	735,486,813
繰越金(当期末残高)	1,093,452,170

損益計算書・剰余金処分
貸借対照表

安心してお取引引きいただける態勢を強化 しています。

たましんの経営理念は「お客さまの幸せづくり」です。事業を営む方にとっても、個人の方にとっても、多摩地域で一番身近な優先することは、たましんの利益ではなく、お客さまにとっての結果であり、お客さまの幸せです。誰もが安心して暮らして

金融機関でなければならないと考えています。
いける地域をしっかりと支えていけるよう、たましんの経営管理を強化しています。

内部統制方針について

内部管理態勢を継続的に整備・充実させ、有効に機能させていくため、「内部統制方針」を定めています。
本方針は、理事会が決定する重要な業務執行について、整備すべき体制及び事項を明確にするとともに、さらに強固な体制を築くためコンプライアンス統括部署、統合的リスク管理部署、反社会的勢力に対する主管部署及び業務運営部門から独立した内部監査部署並びに監事が担う役割について定めています。

内部監査について

内部監査とは、組織体の経営目標の効果的な達成に役立つことを目的として、公正かつ独立の立場で、業務運営の効率性と有効性、財務諸表の信頼性、法令等および社内規定の遵守状況等を評価し、その結果に基づいて助言・勧告を行う活動です。
たましんでは、業務運営部門(子会社を含む)から独立した立場の監査室が、業務運営部門の内部統制の有効性、業務取扱の適切性等を検証し、その結果を検討・評価して理事会へ報告しています。また、関連部署に対しては問題点の改善に向けた助言・提言を行う他、改善状況の確認を行っております。

コンプライアンス宣言

当金庫は、お客さまや社会の信頼にお応えするため、信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、高い見識と倫理観をもち、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして企業活動を遂行してまいります。コンプライアンスを礎となす風土を確立するため、役職員総意の下に「コンプライアンス宣言」を策定し、遵守することを宣言いたします。

1 信頼の確保

多摩信用金庫は、公共的使命と社会的責任を十分認識し、健全な業務運営を通じて、地域社会やお客さまから信頼を確保します。

2 誠実で公明正大な企業活動

多摩信用金庫は、法令やルールを厳格に遵守するとともに、社会規範に従い、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

3 地域社会への貢献

多摩信用金庫は、お客さまや地域の課題を共有し、解決することにより地域社会へ貢献します。

4 適切な情報開示の徹底

多摩信用金庫は、経営等の情報を公正かつ適切に開示することにより、透明な経営を実現します。

5 反社会的勢力の排除

多摩信用金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除します。

コンプライアンス態勢について

コンプライアンス態勢の整備	コンプライアンスの運営態勢
信用金庫は、協同組織の金融機関として、地域の中小企業や個人の皆さまの金融の円滑化を通じて、地域社会の繁栄に奉仕することを基本理念としております。 たましんでは、地域とともに歩む金融機関として、地域のお客さまから真に信頼されるためには、法令や法令に基づく各種ルール及び社会規範を遵守することは当然の責務であるとの認識に立ち、コンプライアンス(法令等遵守)態勢の整備に努めております。	コンプライアンスの運営態勢としては、リスク管理委員会を設置し、毎月委員会を開催してコンプライアンスに関する重要事項を審議しております。法務相談室をコンプライアンスを統括する部門と位置付け、金庫全体のコンプライアンス態勢の整備に努めております。また、本部各部室及び営業店にはコンプライアンス担当者を配置し、コンプライアンスの徹底に努めております。
コンプライアンス・マニュアル	コンプライアンス・プログラム
企業倫理及び行動規範を制定するとともに、それらと法令等各種ルールの解説を記載した「コンプライアンス・マニュアル」を全職員に配布し、その内容の周知徹底を継続して図っております。	年度ごとにコンプライアンスに対する取組計画として「コンプライアンス・プログラム」を策定し、これに基づいてコンプライアンスの定着化を図るための各種研修、及びコンプライアンス環境等の整備を図るための諸施策を実施しております。

個人情報保護について

金融機関は、コンピュータ管理された大量の個人情報を保有しております。保有している個人情報が流出すると、お客さまに多大な迷惑をお掛けすることになります。
たましんでは、個人情報の適切な保護と利用を図るための基本方針として「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を策定し、公表しております。
また、お客さまの個人情報は、利用目的を特定した上で利用しております。
さらに、個人情報の取扱いに関する規程・要領等を整備し、職員研修を実施するとともに、遵守状況についての監査を行い、お客さまの個人情報が漏えいや毀損することを防ぐために万全を期しております。

理事会

平成23年度の理事会は、平成23年4月26日を第1回として以後14回開催し、当金庫の経営上の基本的事項を決定しました。
また、内部管理態勢については、その実効性を高めるための様々な施策を実施しました。

金融庁検査・日本銀行考査

平成23年度は、金融庁による定例検査及び日本銀行による定例考査は実施されませんでした。

監事監査

信用金庫法第35条の7において準用する会社法第381条第1項及び信用金庫法第38条の2第3項に基づき監査を行いました。
なお、信用金庫法第32条第5項に規定する監事を選任しております。(員外監事)
また、監事は定期的に監事会を開催し、監査体制の充実を図りました。

会計監査人監査

信用金庫法第38条の3において準用する会社法第329条第1項により選任した「太陽ASG有限責任監査法人」により、財務全般についての会計監査を受けました。

たましんプロフィール

平成24年3月末現在

創 立	昭和8年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 平成18年1月10日 合併により多摩信用金庫	店 舗 数	本支店……76／出張所……4 店外キャッシュサービスコーナー……61
純 資 産	932億円	役職員数	2,223名(パート含む)
出 資 金	237億円	職 員 数	1,939名(男性1,193名、女性746名)
本 店	東京都立川市曙町2丁目8番28号		

役員一覧

平成24年3月末現在

理 事 長(代表理事) 佐藤 浩二	常勤理事 小俣 勝俊	理 事 秋本 誠一	常勤監事 杉本 節次
専務理事(代表理事) 八木 敏郎	常勤理事 福田 博之	理 事 岩崎 春伸	監 事 安藤 謙治
常務理事(代表理事) 上岡 正一	常勤理事 鈴木 忠	理 事 関塚 時紀生	監 事 村越 政雄
常務理事(代表理事) 石垣 圭一	常勤理事 谷 邦義	理 事 猿渡 昌盛	監 事 寺井 一弘 (員外)
常務理事(代表理事) 加幡 英雄	常勤理事 橋本 浩		監事(員外)は、 信用金庫法第32条第5項に 規定する監事です。
常勤理事 鈴木 邦治	常勤理事 反町 聡		

連結される子会社

平成24年3月末現在

たましんビジネスサービス株式会社	たましんリース株式会社	多摩保証株式会社
設立／昭和41年3月24日 所在地／〒190-0012 立川市曙町2-38-5 TEL／042-527-3008 FAX／042-522-7893 資本金／4千万円 当金庫出資比率／100% 子会社出資比率／0% 主な業務内容／ ●たましんの各種集中事務の処理代行 ●たましんのATMの運用管理 ●現金精査、定型的な集配金業務 ●メールカーの運行 ●人材派遣 ●事務用品、書籍等の販売 ●たましんの駐車場、駐輪場の管理 常勤役員／代表取締役 倉保 安男 専務取締役 佐藤 茂 取 締 役 黒木 正人	設立／昭和58年6月15日 所在地／〒190-0012 立川市曙町2-38-5 TEL／042-528-1131 FAX／042-528-1892 資本金／5千万円 当金庫出資比率／74.8% 子会社出資比率／0% 主な業務内容／ ●生産用、医療用、事務用、その他営業用に供する車両、機械、 器具、設備などの動産リース ●電子計算機ソフトウェアの販売および賃貸 常勤役員／代表取締役 杉本 浩二 専務取締役 青山 長昭 常務取締役 羽村 孝之	設立／昭和60年6月3日 所在地／〒190-0012 立川市曙町2-38-5 TEL／042-524-6311 FAX／042-529-6063 資本金／1千万円 当金庫出資比率／51% 子会社出資比率／49% 主な業務内容／ ●住宅金融に係る信用保証業務および信用調査業務 常勤役員／代表取締役 内海 義一

店舗一覧

平成24年5月末現在

店舗名	住 所	電 話	店舗名	住 所	電 話			
立 川	本店	立川市曙町2-8-28	042-526-7700	多 摩 永山支店	多摩市永山1-5 ベルブ永山	042-356-2511		
	立川ターミナルビル出張所	立川市曙町2-1-1ルミネ立川B-101	042-527-6911	多摩センター支店<サクセシア>	多摩市落合1-43京王プラザホテル多摩4F	042-389-1121		
	南口支店	立川市柴崎町3-5-22	042-528-2211	国 立 国立支店	国立市中1-9-52	042-574-1111		
	東立川支店	立川市羽衣町1-19-6	042-524-0611	東大和 東大和支店	東大和市南街5-65-2	042-564-7111		
	錦町支店	立川市錦町3-6-9	042-528-0511	武蔵村山 村山支店	武蔵村山市学園3-101-1	042-565-9111		
	栄町支店	立川市栄町2-66-1	042-536-9711	武蔵村山 イオンモールむさし村山出張所	武蔵村山市榎1-1-3-1002	042-562-5991		
	砂川支店	立川市砂川町4-2-3	042-535-4411	武蔵村山 残堀支店	武蔵村山市残堀1-33-1	042-569-2111		
	富士見町支店	立川市富士見町4-9-22	042-528-1741	日 野	日野支店	日野市日野本町4-3-6	042-581-7311	
	幸町支店	立川市幸町1-25-15	042-535-5311		南平支店	日野市南平7-17-72	042-593-2111	
	武蔵野	成蹊学園前支店	武蔵野市中町3-29-12		0422-54-3321	豊田支店	日野市豊田3-41-7	042-586-6111
武蔵境南口支店		武蔵野市境南町2-9-3	0422-32-2221		豊田北口支店	日野市多摩平2-3-2	042-581-2123	
西出張所		武蔵野市境南町3-15-23	0422-33-2111		平山支店	日野市平山5-13-2	042-593-1611	
武蔵野支店		武蔵野市西久保1-6-27	0422-54-1211		高幡不動支店	日野市高幡1008-3	042-591-8911	
吉祥寺支店		武蔵野市吉祥寺本町1-10-5	0422-21-3741		八王子	八王子駅前支店	八王子市安町4-7-1 サザンスカイタワー八王子1F	042-621-5711
境支店	武蔵野市境2-11-23	0422-54-1331	西八王子支店			八王子市千人町3-2-16	042-664-6611	
三 鷹	三鷹下連雀支店	三鷹市下連雀1-9-15	0422-44-2121			宇津木支店	八王子市石川町94-6	042-643-5411
	三鷹駅前支店	三鷹市下連雀3-26-9	0422-47-7385			宇津木台出張所	八王子市久保山町1-10 宇津木台ショッピングプラザ2F	042-696-0411
西東京	田無支店	西東京市田無町4-25-5	042-463-1121	京王八王子支店		八王子市明神町2-27-6	042-648-5611	
	ひばりが丘支店	西東京市ひばりが丘北3-4-7	042-423-3111	八王子四谷支店		八王子市大楽寺町510-1	042-621-3721	
調 布	調布支店	調布市国領町1-9-8	042-482-6121	中野山王支店		八王子市中野山王1-3-1	042-621-3111	
	調布北口支店	調布市布田1-45-6	042-482-8176	八王子中央支店		八王子市八日町1-16※	042-623-0111	
小金井	小金井支店	小金井市本町2-5-4	042-385-1111	八木町支店		八王子市八木町4-1	042-623-3311	
	小金井南口支店	小金井市中町4-14-7	042-384-5111	高尾支店		八王子市高尾町1608	042-661-3143	
東久留米	東久留米支店	東久留米市本町1-3-1	042-477-2111	中野支店	八王子市中野上町4-35-17	042-626-5211		
国分寺	国分寺支店	国分寺市本町3-11-12	042-321-4141	大和田支店	八王子市大和田町5-3-24	042-646-1021		
	西国分寺支店	国分寺市泉町3-17-10	042-326-1511	片倉支店	八王子市片倉町633-3	042-636-8511		
	国分寺南口支店	国分寺市南町3-19-8	042-322-9111	めじろ台支店	八王子市めじろ台3-1-1	042-666-4511		
	恋ヶ窪支店	国分寺市戸倉1-3-4	042-328-3011	高倉支店	八王子市高倉町51-22	042-648-6211		
小 平	小平支店	小平市小川西町4-14-16	042-341-3131	恩方支店	八王子市西寺方町72-1	042-652-1311		
	学園東支店	小平市学園東町2-12-15	042-345-5511	散田支店	八王子市散田町3-9-15	042-666-5311		
	一橋学園支店	小平市学園西町2-13-33	042-346-2111	昭 島	昭島支店	昭島市玉川町4-5-3	042-545-5111	
花小金井支店	小平市花小金井南町1-13-19	042-465-2233	拝島支店		昭島市松原町4-13-20	042-545-4111		
東村山	東村山支店	東村山市野口町1-11-17	042-396-5551		郷地支店	昭島市郷地町2-32-16	042-546-4111	
	秋津支店	東村山市秋津町5-35-23	042-395-7221		昭島駅前支店	昭島市昭和町2-5-15	042-546-4311	
府 中	府中支店	府中市府中町1-10-1※	042-366-8211	福 生 福生支店	福生市本町24	042-553-6111		
	中原原支店	府中市住吉町5-2-1	042-366-3311	瑞 穂 瑞穂支店	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎239-2	042-556-4111		
	北府中支店	府中市新町1-65-1	042-367-1311	羽 村 羽村支店	羽村市五ノ神1-2-6	042-555-3111		
	北山支店	府中市北山町2-22-7	042-573-4711	あきる野	秋川支店	あきる野市野辺539-1	042-559-3111	
東府中支店	府中市清水が丘3-25-1	042-367-5211	あきる野支店		あきる野市秋川2-10-3	042-550-3111		
多 摩	桜ヶ丘支店	多摩市一ノ宮3-1-5	042-374-2781	相模原 相模原支店	相模原市中央区相模原5-10-10	042-756-7111		

※建替えのため、仮店舗住所を記載しています。

●店外キャッシュサービスコーナー(61カ所)

平成24年5月末現在

立川	フロム中武前	小金井	小金井北大通り	府中	府中駅構内	八王子	京王山田駅前
	高島屋立川店内	東久留米	QURUNE東久留米店内	国立	オリンピック国立店前		西八王子駅構内
	立川市役所内	国分寺	国分寺駅北口	国立旭通り	国立市役所内		ぐりーんうおーく多摩内
	いなげや幸店前	小平	国分寺市役所内	さえき国立店前	国立旭通り		ザマーケットプレイス八王子内
	いなげや立川栄町店前		ブリヂストン小川東町	さえき国立店前	国立旭通り		昭島市役所内
	マルエツ武蔵砂川店前	東村山	いなげや小平学園西町店前	東大和	フレスポ国立南		昭島市役所内
	京王ストア立川店前	府中	西武国分寺線小川駅前	武蔵村山	イトーヨーカドー東大和店内		昭島駅北口前
	多摩モノレール立川南駅前		いなげや小平小川橋店	日野	BIGBOX東大和店内		イオン昭島ショッピングセンター内
	伊勢丹立川店前	武蔵野	いなげや東村山市役所前店内	八王子	イトーヨーカドー八王子店内		エコス拝島店前
	若葉ケヤキモール内		ヤマダ電機府中店前	瑞穂	スーパーアルプス日野店前		イトーヨーカドー拝島店内
立川北口	三鷹	京王ストア栄町店前	日野	イトーヨーカドー八王子店内	瑞穂		
西国立駅前		府中駅南口くるる内	八王子	イトーヨーカドー八王子店内	羽村		
武蔵野	いなげや武蔵野関前店内	MINANO分倍河原店内	八王子	スーパーアルプス宇津木台店前	あきる野		
三鷹	コモディイイダ三鷹店向かい	いなげや府中浅間町店内	八王子	京王八王子駅前	あきる野		
	Jマート三鷹店内	府中市役所内	八王子	曙町1丁目バス停前	日の出		
					日の出	イオンモール日の出内	

●たましんすまいるプラザ

店舗	営業時間	休業日	電話
たましんすまいるプラザ国立 (国立支店2階・3階)	平日:午前9時～午後7時 土・日:午前11時～午後5時	祝日・12/31～1/3	0120-789-440
たましんすまいるプラザ武蔵村山 (イオンモールむさし村山1階 ノースコート東入口横)	コンサルティングブース クイックサービス窓口	午前10時～午後7時 午前10時～午後3時	12/31～1/3 土・日・祝・12/31～1/3
たましんすまいるプラザ立川 (立川駅ビル ルミネ立川地下1階)	午前10時～午後7時	12/31～1/3・ルミネ立川休業日	0120-667-646
たましんすまいるプラザ吉祥寺 (吉祥寺支店2階)	平日:午前9時～午後7時 土・日:午前10時～午後5時	祝日・12/31～1/3	0120-771-313
たましんすまいるプラザめじろ台 (めじろ台支店2階)	平日:午前9時～午後7時 土・日:午前11時～午後5時	祝日・12/31～1/3	0120-778-480
たましんすまいるプラザ八王子 (八王子駅前支店1階)	平日:午前9時～午後7時 土・日・祝:午前10時～午後7時	12/31～1/3	0120-530-711
たましんすまいるプラザ多摩センター (京王プラザホテル多摩4階)	午前9時～午後5時	12/31～1/3	0120-112-790
たましんすまいるセンター (多摩信用金庫本店駐車場となり)	午前9時～午後5時	土・日・祝・12/31～1/3	0120-778-289

●その他の施設

店舗	営業時間	休業日	電話
たましんワールドキャッシュセンター (立川駅ビル ルミネ立川9階/パスポートセンター前)	午前10時～午後6時 ※3月・9月・12月の最終営業日は午後4時まで	土・日・祝・12/31～1/3・ルミネ立川休業日	042-523-0057
インキュベーション施設 ブルームセンター (創業支援施設・京王八王子支店7階)	4階事務局 7階専有スペース	午前10時～午後6時 入居者24時間利用可能	土・日・祝・12/29～1/3 入居者365日利用可能
たましん事業支援センター(Winセンター) (多摩信用金庫本店駐車場となり)	午前9時～午後5時	土・日・祝・12/31～1/3	0120-778-265
Winプラザ多摩センター (京王プラザホテル多摩3階)	午前9時～午後5時	12/31～1/3	042-389-1133

たましんレポート 2012
【第79期 業務のご報告】
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
http://www.tamashin.jp



お問い合わせ

お客さま照会センター

- 本誌に関するお問い合わせ、ご意見は ☎ 0120-187-329
 - 出資、会員に関するお問い合わせは ☎ 0120-077-441
- たましんホームページでも本誌やたましんに関するご意見、お問い合わせを承っております。

※RISURUはたましんのイメージキャラクターです。

(C) 2003,2012 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. G530542



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



お客さまの幸せづくり
たましん
発行:平成24年6月